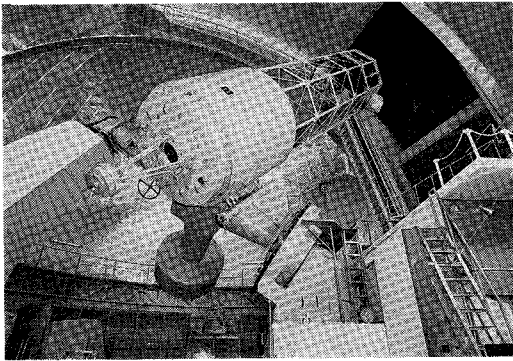


日本の観測所めぐり (11)

東京天文台 岡山天体物理観測所

我が国における天体物理学の研究の振興を目的として昭和35年に開設された。観測設備としては188センチおよび91センチ反射望遠鏡、65センチ太陽望遠鏡がある。岡山県西部の浅口郡鴨方町と小田郡矢掛町との境界、竹林寺山頂（海拔372メートル）にある、東京大学東京天文台附属の観測施設であるが、全国の天文学研究者の観測のための共同利用にも供されている。毎年2月頃、相談会をもって翌年度の観測プログラムを決めている。特に188センチ望遠鏡は現在でも我が国で最大口径のものであり、多数の観測申込みを約半分に圧縮せざるを得ないのが現情である。

188センチ望遠鏡はイギリスのグラブ・パーソンズ社製で、姉妹機がカナダ、南アフリカ、オーストラリア、フランス、エジプトにある、設置当初、世界中でも十指に入ったが現在では口径では40位以下になってしまった。望遠鏡は目的によって、ニュートン、カセグレイン、クーデの3つの焦点の使い分けができ、各焦点には幾つかの観測装置を備えている。暗夜にはニュートンま



1986年8月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	1,	9	11	0,	0	21	1,	4
2	1,	10	12	0,	0	22	1,	15
3	1,	7	13	0,	0	23	—,	—
4	—,	—	14	0,	0	24	1,	2
5	1,	9	15	0,	0	25	1,	3
6	1,	5	16	1,	3	26	1,	3
7	—,	4	17	1,	1	27	1,	2
8	—,	—	18	0,	0	28	1,	4
9	1,	2	19	—,	—	29	1,	4
10	0,	0	20	0,	0	30	1,	2
(相対数月平均値: 6.2)						31	1,	2

たはカセグレイン焦点で微光天体の観測を行ない、月の明るい夜にはクーデ分光器などで比較的明るい天体の高分光観測を行なって、多方面の研究を進めてきた。91センチ望遠鏡は日本光学(KK)が製作した国産大型望遠鏡の第1号機でカセグレイン専用、主に光電測光用であるが、最近では小型分光器をつけて長期にわたる星の活動現象の追跡観測も行なわれている。太陽望遠鏡も日本光学製でクーデ焦点専用、焦点距離10メートルの大型クーデ分光器を備えている。最近ではクーデ焦点部に偏光解析装置を取付けてゼーマン効果を利用した太陽磁場の研究が進められている。

観測所への道順は山陽線鴨方駅から遙照山行バス(鴨方駅発 8:25, 9:55, 12:55, 15:30)で天文台下車。自家用車の場合には国道2号より県道鴨方-矢掛線区利用、峠の頂上から西へ入る。国道分岐点から北に約10キロメートルである。188センチ望遠鏡・ドームは観覧者席を有し、ガラス越しに188センチ望遠鏡を自由に見ることが出来る。観覧者席は年末年始を除き、毎日9:30-16:30の間開いている。ただし6月および9月の望遠鏡の整備期間に大きな作業を行なう場合には危険防止のため1週間程度構内見学停止になることもある。他の91センチおよび太陽望遠鏡は一般公開していない。観測所入口に岡山天文博物館(県の施設)があるので、あわせて見学するとよい。開館時間は9:00-16:30。月曜日休館。

観測所所在地

〒719-02 岡山県浅口郡鴨方町本庄

電話: 086544-2156

(山下泰正)

◇ 11月の天文暦 ◇

日 時	記	事
2 15	朔	
2 21	水 星	留
4 11	月	最近
5 19	金 星	内合
8 2	立 冬	(太陽黄経 225°)
9 5	木 星	留
9 6	上 弦	
13 13	水 星	内合(日面経過)
16 21	望	
20 7	月	最遠
22 14	水 星	留
22 24	小 雪	(太陽黄経 240°)
24 13	金 星	留
25 2	下 弦	
30 12	水 星	西方最大離角